

とうきょうすくわくプログラム活動報告書



こどもの「すくすく×わくわく」をおうえん

1. 活動のテーマ 〈テーマ〉

積み木などを使って絵本（じっちょりん）の世界を表現したり、ごっこ遊びを楽しむ

〈テーマの設定理由〉

大好きなじっちょりんを通じて四季を感じたり、自然に親しむ楽しさや喜びを味わいたいと考えた。いい絵本とたくさん出会い、イメージをふくらませて再現するあそびを楽しめるよう、日々絵本の読み聞かせに力を入れている。

2. 活動スケジュール

- 絵本を読み込む
- 季節ごとのシリーズに合わせて積み木で表現する。
- じっちょりんを作る。（ラキュー・画用紙）
- 絵を描く
- 自身がじっちょりんになりきって劇遊びをする（発表会）
- 看板を作る
- 種や木の実を使ってクッキー作りをする。
- クッキー屋さんをする。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境設定

（活動のためにどのような環境設定したか、準備した素材や道具）

- 絵本を読む、装飾をする
- 積み木、色板、ツリーブロックス、布、ラキュー、画用紙、のり、ハサミ
- 絵の具、折り紙、テープ、色鉛筆、人形、
- 種集めをする（ひまわり、あさがお、かぼちゃ、どんぐり、）
- 衣装を身に着ける、触角を身に着ける
- お店屋さん（冷蔵庫）

4. 探究活動の実践

〈活動の内容〉

- じっちょりんをラキューで作る
- じっちょりんとお月見のシーンを積み木で作る
- じっちょりんとクリスマスを迎える、ハートの葉っぱ、花びらを作る
- じっちょりんの冬のシーンを積み木で作る
- じっちょりんとスノーボード競技をする（オリンピック）
- じっちょりんの誕生祝いのシーンやお家づくりを積み木で再現する
- 種集めをする クッキー屋さんが開店する

〈活動中のこどもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり〉

（活動の内容、活動中見られた子供の姿、保育者との関わりなど）

じっちょりんの絵本を読むと、園庭にハナミズキの種を見つけた時「じっちょりんのタネがあった」と集めるようになる。保育室に飾ってあったマスコットのじっちょりに届けていたが、ラキューでじっちょりんを作る子が現れると、みんなそれぞれ自分なりのじっちょりんを作り、名前を付けるようになる。じっちょりんのシリーズをみてその時期ごとの季節感を味わいごっこ遊びを楽しんだ。発表会では衣装や触角、小道具を用意し、身に着けることでなりきることができ楽しんで舞台にたつことができた。

5. 振り返り

〈振り返りによって得た大人の気づき〉

ふだん気にとめないようなたねや葉、花びらが特別なものになった。1年を通していつもじっちょりんが身近について生活をともにしている存在になっていた。絵本のこまかいところまでよく見ていて、観察力と表現力に驚いた。



こどもの「すくすく×わくわく」をおうえん